

令和4年度 第1回四街道市地域公共交通会議 会議次第

日時：令和4年8月3日（水）午後2時30分～

場所：新館5階第1会議室

1. 開 会

2. 議 事

(1) グリーンスローモビリティを活用した実証実験について

①令和3年度の運行状況について（資料1、資料2）

②運行方法の変更について（資料3、資料4）

(2) その他

3. 閉 会

四街道市

グリーンスローモビリティを活用した 実証実験について

— 令和3年度実績報告 —



令和4年4月

四街道市経営企画部政策推進課

1. 令和3年度 実績報告（10月～3月実績）

令和3年10月19日（火）に開始したグリーンスローモビリティを活用した実証実験（チョイソコ グリスロよっかいどう）について、10月から3月までの運行状況を次のとおり報告する。

令和4年3月31日時点における会員数は432人で、開始から3月末までに、291人が利用しており、実利用者数は53人であった。

丁目ごとの会員数・利用者数は、千代田1丁目がそれぞれ69人・20人、同様に千代田2丁目が74人・7人、千代田3丁目が116人・177人、千代田4丁目が89人・25人、千代田5丁目が84人・29人となっており、千代田3丁目の利用者が多くなっている。

年齢別では、70歳代及び80歳代の会員数が373人（全体比86.3%）、利用者数が223人（同76.6%）となっている。

予約件数は244件で、1日平均の予約件数は3.8件とやや低く、1日平均の利用者数も4.5人となっている。

月別の運行では、月平均の利用者数は48.5人となっているが、1月の利用者数が28人、2月の利用者数が38人、3月の利用者数は34人と、1月以降の利用者数は月平均を下回っている状況である。

曜日別の運行では、木曜日の利用者数が122人（全体比41.9%）と多く、次いで金曜日の95人（全体比32.6%）、火曜日の74人（同25.4%）の順となっている。

目的地別の運行では、「三徳付近」の利用者数が94人（同32.3%）と最も多く、次いで「クスリのアオキ千代田店」が33人（同11.3%）となっている。

乗合率については、1.31人となっている。



2. 実証実験概要（令和3年度）

運営主体	四街道市
システム等運用事業者	双日株式会社
運転等事業者	有限会社第一構内タクシー
実証実験名称	グリーンスローモビリティを活用した実証実験（チョイソコ グリスロよっかいどう）
運行範囲	千代田地区及びその周辺
運行日時	毎週 火曜日、木曜日、金曜日（祝日、年末年始は除く。） 10:00～16:00（12:00～13:00を除く）
運行方法	デマンド型乗合交通による運行（電話による予約）
予約受付	9:30～15:30 （利用希望日の2週間前から利用希望日時の30分前まで）
停留所	54カ所
運賃	無賃
利用者数	291人（10月38人、11月73人、12月80人、1月28人、2月38人、3月34人） 実利用者数は53人
運行本数	222本（火曜日54本、木曜日86本、金曜日82本）
予約件数	244件
乗合率 ^{※1}	1.31人
運行経費	5,742,000円（システム等運用及び運転等委託費） （内5,500,000円は、企業版ふるさと納税 ^{※2} による寄附で賄われている。）

※1 乗合率は、1運行あたりの利用者数を平均したもの

※2 制度を活用した場合は、3年度限り

3. 統計一覽

◇ 地域別会員数・利用者数（人）

	会員数	会員数 割合 (%)	利用者数	利用者数 割合 (%)
1丁目	69	16.0	20	6.9
2丁目	74	17.1	7	2.4
3丁目	116	26.9	177	60.8
4丁目	89	20.6	25	8.6
5丁目	84	19.4	29	10.0
非会員			33	11.3
合計	432	100	291	100

◇ 年齢別会員数・利用者数（人）

	会員数	会員数 割合 (%)	利用者数	利用者数 割合 (%)
12歳～	3	0.7	0	0
20歳～	1	0.2	0	0
30歳～	3	0.7	0	0
40歳～	10	2.3	2	0.7
50歳～	18	4.2	2	0.7
60歳～	20	4.6	24	8.2
70歳～	212	49.1	92	31.6
80歳～	161	37.3	131	45.0
90歳～	4	0.9	7	2.4
非会員			33	11.3
合計	432	100	291	100

◇ 予約件数（件）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予約件数	30	55	69	27	34	29	244

◇ 曜日別運行状況

	利用者数(人)	運行本数(本)	乗合率(人)	利用割合(%)
火曜日	74	54	1.37	25.4
木曜日	122	86	1.42	41.9
金曜日	95	82	1.16	32.6
合計	291	222		100

◇ 乗降場別運行状況 (人)

		降車場						乗車場の合計	利用割合(%)
		団地内	バス停付近	千代田集会所	ベリータウン薬局	クスリのアオキ千代田店	三徳付近		
乗車場	団地内	31	0	9	12	27	89	168	57.7%
	バス停付近	2	0	0	0	2	5	9	3.1%
	千代田集会所	9	0		0	2	0	11	3.8%
	ベリータウン薬局	0	0	0		0	0	0	0%
	クスリのアオキ千代田店	13	4	2	0		0	19	6.5%
	三徳付近	78	4	0	0	2		84	28.9%
降車場の合計		133	8	11	12	33	94	291	100%
利用割合(%)		45.7	2.7%	3.8%	4.1%	11.3%	32.3%	100%	

※表中の割合(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、割合の合計値が100%にならない場合があります。

4. 車両の運行について

タクシー事業者からは、タブレットの操作や地区の地理に慣れが必要との感想があったものの、車両の走行、運転に関して特に意見はなく、危険と感じたとの意見もなかった。

無理な追い抜き 0件

過度にクラクションを鳴らされた 0件

あおり運転 0件

5. 実績報告のまとめ

会員数及び利用者数が最も多い地域は、千代田3丁目となっており、商業施設等から遠い地域の方に好評である。しかしながら、会員432人のうち実利用者が53人とどまっていることから、その要因を調査する必要がある。

年齢別では、70歳代以上の高齢者の会員数及び利用者数が多く、ともに全体の70%を超えている。

月別の運行では、1月以降気温が下がり、雪も降るなど、寒くなった時期の利用者は少ない状況となっている。

曜日別の運行では、木曜日の利用者数が多く、火曜日が少ないものの、大きな差は見られない。

目的地別の運行では、「三徳付近」の利用者数が最も多く、「クスリのアオキ千代田店」の利用者が続いており、買い物を目的とした利用者が多いと考えられる。

1日平均の予約件数が3.8件とやや低く、乗合率も、1.31人となっている。

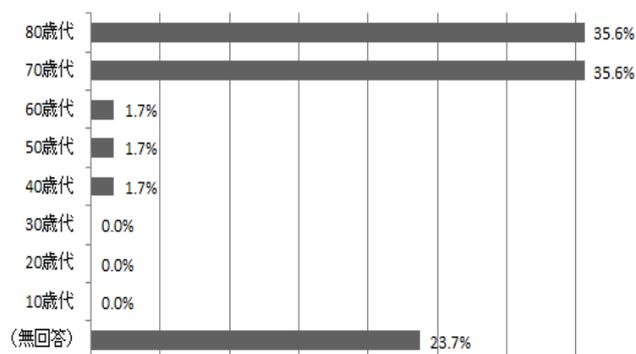
6. 利用者アンケート調査結果

令和3年10月19日から令和4年3月31日の期間に、グリーンスローモビリティ利用者が乗車した際に、アンケート調査の協力を求めた結果、59人から回答があった。以下、59人のアンケート結果について報告する。

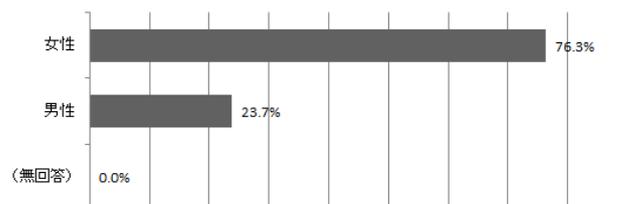
問1.あなた自身のことについて、記載ください。

(1) 年齢/性別

年齢	件数	割合
80歳代	21	35.6%
70歳代	21	35.6%
60歳代	1	1.7%
50歳代	1	1.7%
40歳代	1	1.7%
30歳代	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
10歳代	0	0.0%
(無回答)	14	23.7%
合計	59	



性別	件数	割合
女性	45	76.3%
男性	14	23.7%
(無回答)	0	0.0%
合計	59	



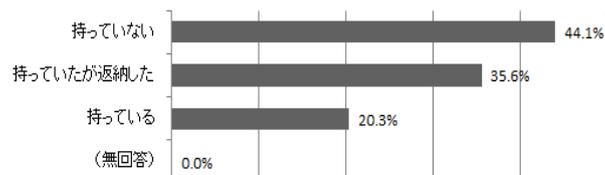
(2) 住所

住所	件数	割合
千代田	54	91.5%
その他	1	1.7%
(無回答)	4	6.8%
合計	59	



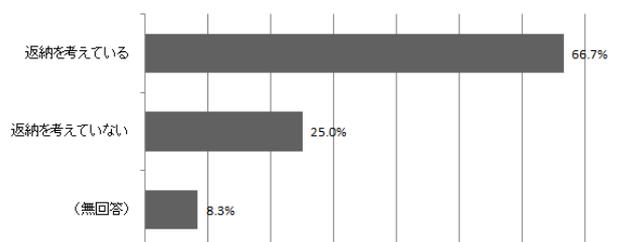
(3) 運転免許の保有状況

保有状況	件数	割合
持っていない	26	44.1%
持っていたが返納した	21	35.6%
持っている	12	20.3%
(無回答)	0	0.0%
合計	59	



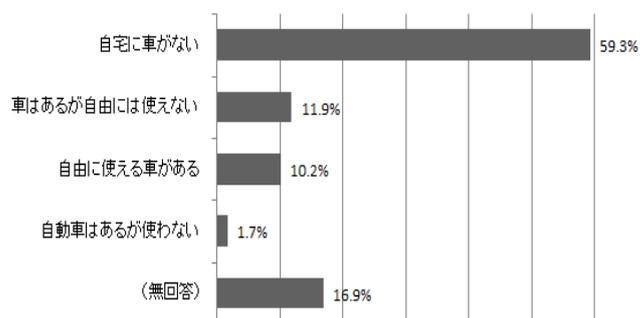
(4) 自動車普通運転免許をお持ちの方にお聞きします。

返納について	件数	割合
返納を考えている	8	66.7%
返納を考えていない	3	25.0%
(無回答)	1	8.3%
合計	12	



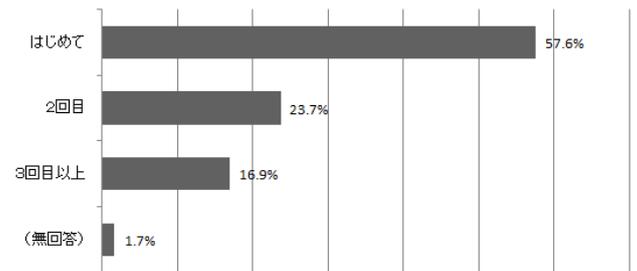
(5) 自家用車の所有状況

所有状況	件数	割合
自宅に車がない	35	59.3%
車はあるが自由には使えない	7	11.9%
自由に使える車がある	6	10.2%
自動車はあるが使わない	1	1.7%
(無回答)	10	16.9%
合計	59	



問 2 .実証実験の利用回数

利用回数	件数	割合
はじめて	34	57.6%
2回目	14	23.7%
3回目以上	10	16.9%
(無回答)	1	1.7%
合計	59	



問 3 .今回の外出について、お答えください。

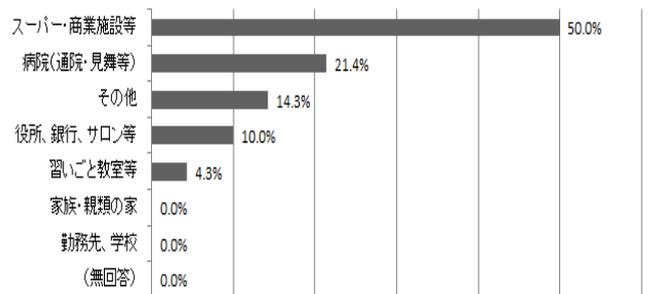
(1) 本日の外出方法は何ですか。

外出方法	件数	割合
路線バスへの乗換以外	34	57.6%
路線バスへの乗換	4	6.8%
(無回答)	21	35.6%
合計	59	



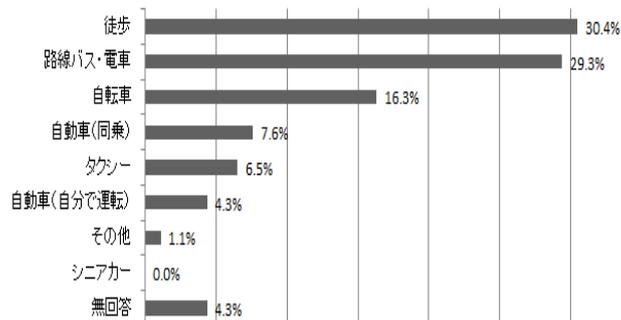
(2) 本日の外出先は何ですか。(複数回答可)

外出先	件数	割合
スーパー・商業施設等	35	50.0%
病院(通院・見舞等)	15	21.4%
その他	10	14.3%
役所、銀行、サロン等	7	10.0%
習いごと教室等	3	4.3%
家族・親類の家	0	0.0%
勤務先、学校	0	0.0%
(無回答)	0	0.0%
合計	70	



(3) 普段の交通手段は何ですか。

交通手段	件数	割合
徒歩	28	30.4%
路線バス・電車	27	29.3%
自転車	15	16.3%
自動車(同乗)	7	7.6%
タクシー	6	6.5%
自動車(自分で運転)	4	4.3%
その他	1	1.1%
シニアカー	0	0.0%
(無回答)	4	4.3%
合計	92	

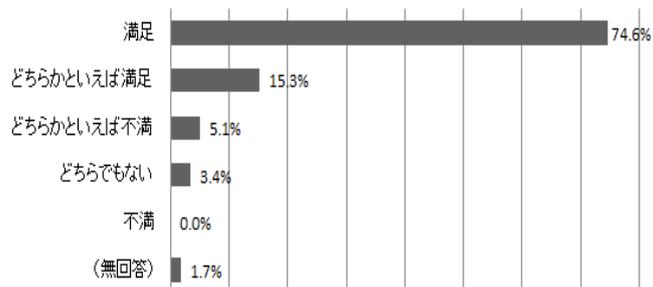


※複数回答有

問4.実証実験の満足度はどうですか。

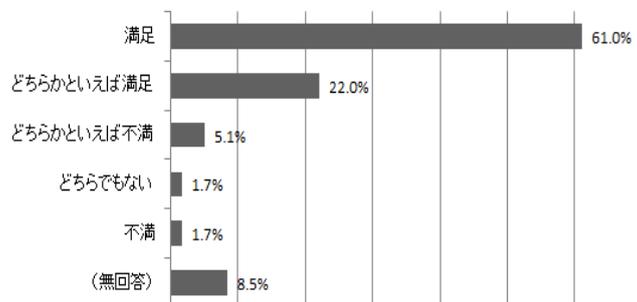
(1) 車両について

車両	件数	割合
満足	44	74.6%
どちらかといえば満足	9	15.3%
どちらかといえば不満	3	5.1%
どちらでもない	2	3.4%
不満	0	0.0%
(無回答)	1	1.7%
合計	59	



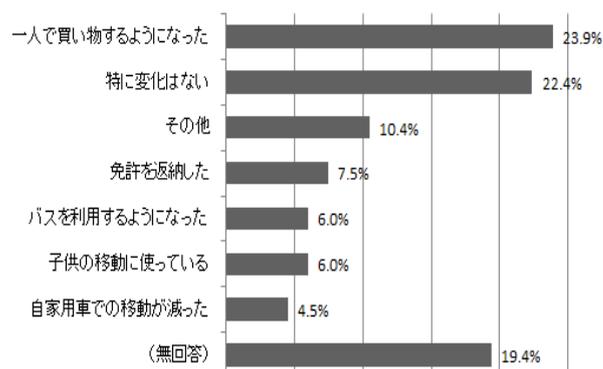
(2) 予約、停留所等の運行システムについて

運行システムについて	件数	割合
満足	36	61.0%
どちらかといえば満足	13	22.0%
どちらかといえば不満	3	5.1%
どちらでもない	1	1.7%
不満	1	1.7%
(無回答)	5	8.5%
合計	59	



問5.実証実験が行われることで生活に変化はありましたか。（複数回答可）

生活の変化	件数	割合
一人で買い物するようになった	16	23.9%
特に変化はない	15	22.4%
その他	7	10.4%
免許を返納した	5	7.5%
バスを利用するようになった	4	6.0%
子供の移動に使っている	4	6.0%
自家用車での移動が減った	3	4.5%
（無回答）	13	19.4%
合計	67	



7. 利用者の意見・声

利用者アンケート調査結果の意見、利用者、自治会の声では、買い物に助かっている、これからも続けて欲しいなどの肯定的な意見・声が多かった。また、運行日の変更や、停留所の追加などの声もあった。

自治会からは、目的地として、もねの里モールや、ものいトータルクリニックへの希望や定期路線に変更したいなどの声があった。

○利用者意見

- ・歩けないので、三徳まで行けるようになり、大助かり。ありがとう。
- ・これから先も、利用したいので、長く続けてもらいたい。
- ・視野が広く、子供と出かけるのにぴったり！子供もとても喜んでいる。
- ・親切だったので、安心した。
- ・活用の手段がまだ良くわからない。冬期に入ると寒そうで活用しにくそう。

○利用者からの声

- ・スーパーの特売があるので、水曜日でも運行してほしい。
- ・もねの里モールや、ものいトータルクリニックまで行きたい。

○自治会からの声

- ・もねの里モールや、ものいトータルクリニックまで行きたい。
- ・定期路線で運行してほしい。

8. 利用者アンケート調査結果のまとめ

令和4年3月31日時点において、利用者は70歳以上の方が71.2%であり、現在運転免許を保有していない方が79.7%であった。また、運転免許を持っている方の中で返納を検討している方が66.7%であり、利用者の多くは、免許がない方、あるいは免許の返納を検討している方である。

路線バスへの乗換については、6.8%と低く、商業施設や病院への移動が中心となっている。ただし、普段の交通手段は、路線バス・電車を29.3%利用しており、現在は、グリーンスローモビリティを利用した路線バスの乗り換えがないものの、今後高齢化の進展などにより、グリーンスローモビリティからの路線バスへの利用も考えられる。また、これらバス利用者の維持も必要である。

車両及び運行システムについての満足度は、それぞれ80%を超えており、利用者からは好評である。また、実証実験後の生活の変化として、一人で買い物をするようになった23.9%、免許を返納した7.5%、バスを利用するようになった6.0%、自家用車での移動が減った4.5%となっており、グリーンスローモビリティが自立した生活に一定程度寄与しているものと思われる。

9. 検討事項

- ・ 月ごとに、利用状況が異なることから、季節にあった運行日時も検討する。
- ・ 千代田3丁目以外は、利用者が少ない状況であるため、運行方法に課題があるのか、運行自体が不要なのか、アンケート調査を実施したうえで、さらなる検討が必要である。
- ・ 主目的である公共交通課題に対し、市民と課題の共有を図りながら、理解促進を行う必要があることから、地域と連携した周知活動が必要である。
- ・ 運行状況及び利用者、自治会からの声を踏まえ、より良い運行を目指して、会員へのアンケート調査を実施した上で、今後の運行方法・利用促進、地域との協働などさらに検討が必要である。

◎運行方法変更事例

課題	実証実験	検討内容（例）
運行日	火曜日、木曜日、金曜日	曜日の変更
運行範囲・停留所変更	千代田地区内及びその周辺に停留所を設置	停留所設置場所の追加及び変更（商業施設を含む）
運行内容	デマンド型乗合	運行方法の変更 通常→3日（10時～16時） 冬季→2日（11時～15時）
その他	市主体	地域と市の協働 （定時定路線運行）

10. バス事業者との連携

実証実験は、路線バスを補完することにより、路線バスの利用促進を主な目的として、検証するものであるが、令和4年1月16日から千葉内陸バス株式会社の物井池花線及び亀崎線において、「もねの里モール入口」停留所が新たに設置され、「グリーンスローモビリティ+既存バス路線」による、もねの里モール等へのアクセス性が向上した。

今後も、このような形で、交通事業者との連携による、公共交通の利便性向上に取り組むこととする。



■■■■ バス路線

1.1. 利用者アンケート用紙

グリーンスローモビリティを活用した実証実験利用者アンケート調査 (令和3年度)

本日は、ご乗車いただきありがとうございました。以下、アンケートへのご協力をお願いいたします。

問1 あなたご自身のことについて、記載ください。

- (1) 性別/年齢 男性 女性 / () 歳
(2) お住まい 千代田 その他()
(3) 自動車普通運転免許をお持ちですか？
持っている 持っていたが返納した 持っていない
(4) 自動車普通運転免許をお持ちの方にお聞きします。
返納を考えている 返納を考えていない
(5) 現在、ご自宅に自動車をお持ちですか？
自由に使える車がある 車はあるが自由には使えない
自動車はあるが使わない 車はない

問2 実証実験の利用回数

- はじめて 2回目 3回目以上()回目

問3 今回の外出について、お答えください。

- (1) 本日の外出方法は何ですか。
路線バスへの乗換 左記以外
(2) 本日の外出先は何ですか？ (複数回答可)
病院(通院・見舞等) スーパー・商業施設等 習いごと教室等
家族・親類の家 勤務先・学校 役場、銀行、サロン等
その他()
(3) 普段の交通手段はなんですか？ (主な交通手段を1つだけ?)
徒歩 自動車(同乗) 自動車(自分で運転) 路線バス・電車 タクシー
自転車 シニアカー その他()

問4 実証実験の満足度はどうですか？

- (1) 車両について
満足 どちらかといえば満足 どちらでもない
どちらかといえば不満 不満
選択した理由()
(2) 予約、停留所等の運行システムについて
満足 どちらかといえば満足 どちらでもない
どちらかといえば不満 不満
選択した理由()

問5 実証実験が行われることで生活に変化はありましたか。(複数回答可)

- 免許を返納した 自家用車での移動が減った バスを利用するようになった
一人で買い物するようになった 子供との移動に使っている 特に変化はない
その他()

問6 実証実験について、ご意見・ご要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

担当：四街道市役所
政策推進課交通係
043-421-2111 (代表)

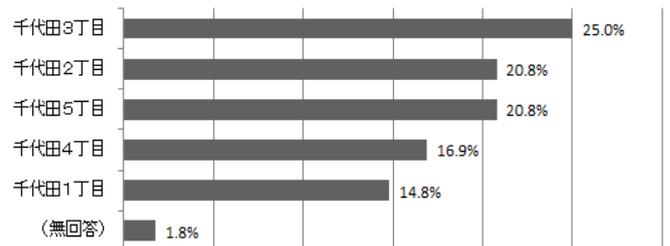
「四街道市グリーンスロモビリティを活用した実証実験」会員アンケート調査結果報告

1. 会員アンケート調査結果

会員 432 人に対し、アンケート調査(3/17 送付)を実施した結果、284 人(4/20 時点)から回答があり、回収率は 65.7%であった。以下、会員 284 人からのアンケート結果について報告する。なお、会員からの回答結果を基本としているが、(6)グリスロ実証実験の利用についての問いにて、「利用している」と回答している方と回答が相違しているものについては、利用者の結果も併せて記載する。

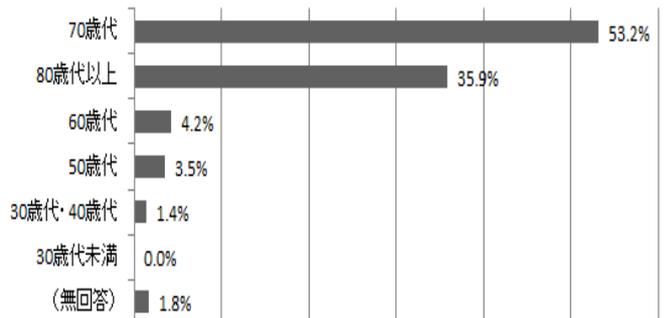
(1) 住所

住 所	件数	割合
千代田 3 丁目	71	25.0%
千代田 2 丁目	59	20.8%
千代田 5 丁目	59	20.8%
千代田 4 丁目	48	16.9%
千代田 1 丁目	42	14.8%
(無回答)	5	1.8%
合計	284	



(2) 年齢

年 齢	件数	割合
70 歳代	151	53.2%
80 歳代以上	102	35.9%
60 歳代	12	4.2%
50 歳代	10	3.5%
30 歳代・40 歳代	4	1.4%
30 歳代未満	0	0.0%
(無回答)	5	1.8%
合計	284	



(3) 運転免許の保有状況

会員全体

保有状況	件数	割合
保有している	126	44.4%
今まで取得したことがない	81	28.5%
以前は、保有していた	71	25.0%
(無回答)	6	2.1%
合計	284	



利用者

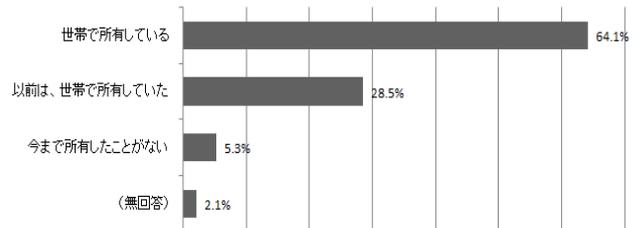
保有状況	件数	割合
今まで取得したことがない	17	42.5%
以前は、保有していた	12	30.0%
保有している	11	27.5%
(無回答)	0	0.0%
合計	40	



(4) 自家用車の所有状況

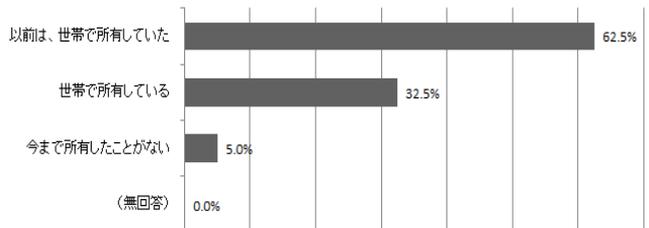
会員全体

所有状況	件数	割合
世帯で所有している	182	64.1%
以前は、世帯で所有していた	81	28.5%
今まで所有したことがない	15	5.3%
(無回答)	6	2.1%
合計	284	



利用者

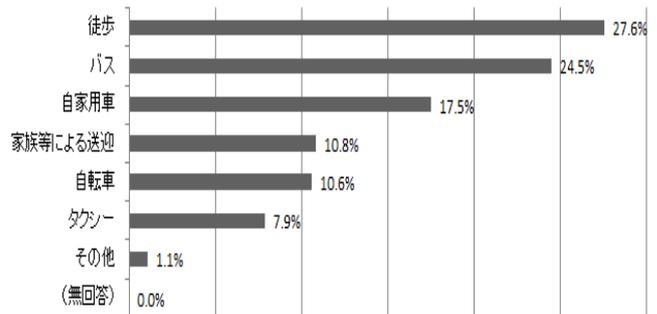
所有状況	件数	割合
以前は、世帯で所有していた	25	62.5%
世帯で所有している	13	32.5%
今まで所有したことがない	2	5.0%
(無回答)	0	0.0%
合計	40	



(5) 現在の移動手段について (複数回答可)

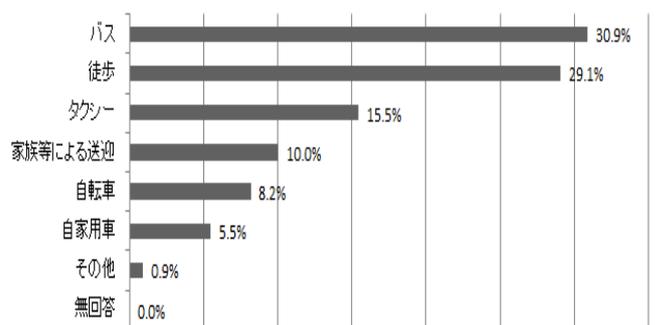
会員全体

移動手段	件数	割合
徒歩	206	27.6%
バス	183	24.5%
自家用車	131	17.5%
家族等による送迎	81	10.8%
自転車	79	10.6%
タクシー	59	7.9%
その他	8	1.1%
(無回答)	0	0.0%
合計	747	



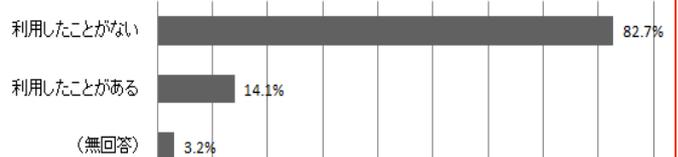
利用者

移動手段	件数	割合
バス	34	30.9%
徒歩	32	29.1%
タクシー	17	15.5%
家族等による送迎	11	10.0%
自転車	9	8.2%
自家用車	6	5.5%
その他	1	0.9%
(無回答)	0	0.0%
合計	110	



(6) 現在、実施しているグリスロ実証実験の利用について

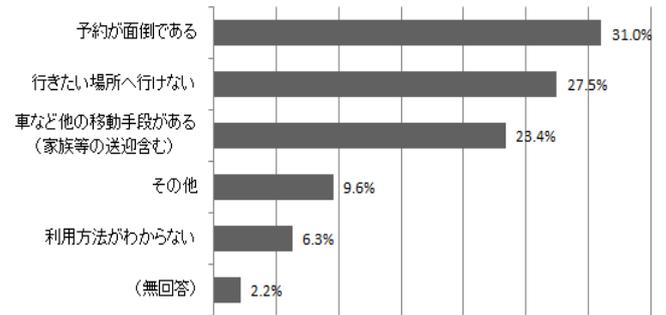
移動手段	件数	割合
利用したことがない	235	82.7%
利用したことがある	40	14.1%
(無回答)	9	3.2%
合計	284	



(7) 利用したことがない場合、その理由（複数回答可）

利用したことがない理由は、「予約が面倒である」が31.0%と高く、次に「行きたい場所へ行けない」が27.5%となっている。

理由	件数	割合
予約が面倒である	113	31.0%
行きたい場所へ行けない	100	27.5%
車など他の移動手段がある (家族等の送迎含む)	85	23.4%
その他	35	9.6%
利用方法がわからない	23	6.3%
(無回答)	8	2.2%
合計	364	

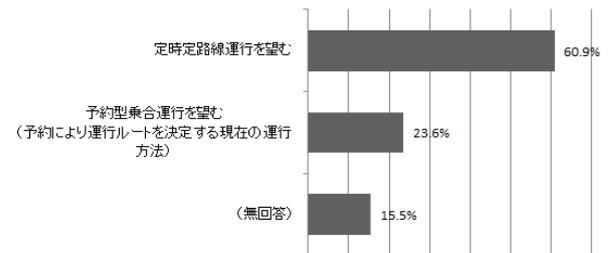


(8) グリスロの運行方法について・(9) 実証実験中の運行希望曜日

運行方法は、会員全体では「定時定路線運行を望む」が60.9%と高く、運行希望日は、水曜日、土曜日、金曜日の順で希望が多かった。また、利用者は、「定時定路線運行を望む」と「予約型乗合運行を望む」が同数であった。運行希望日は、火曜日、金曜日、土曜日の順で希望が多かった。

会員全体

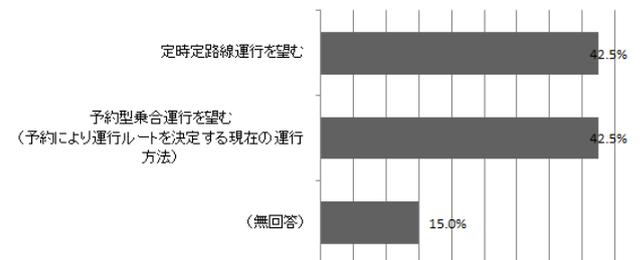
運行方法	件数	割合
定時定路線運行を望む	173	60.9%
予約型乗合運行を望む (予約により運行ルートを決める現在の運行方法)	67	23.6%
(無回答)	44	15.5%
合計	284	



	月	火	水	木	金	土	日	無回答
1位	50	27	33	15	19	39	12	89
2位	17	17	42	30	23	31	34	
3位	16	16	26	26	51	27	27	
合計	83	60	101	71	93	97	73	

利用者

運行方法	件数	割合
定時定路線運行を望む	17	42.5%
予約型乗合運行を望む (予約により運行ルートを決める現在の運行方法)	17	42.5%
(無回答)	6	15.0%
合計	40	



	月	火	水	木	金	土	日	無回答
1位	4	10	4	1	6	3	2	0
2位	3	3	5	9	3	6	1	
3位	4	3	1	4	7	6	4	
合計	11	16	10	14	16	15	7	

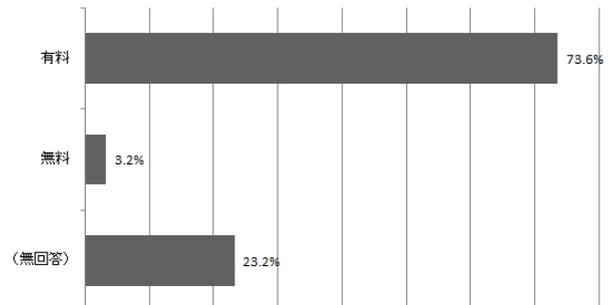
(10) グリスロの適正と思われる運賃について

グリスロの適正と思われる運賃は、金額にばらつきはあったものの、「現在の運行区域の場合」が73.6%、「運行区域をもねの里モール等まで広げた場合」が84.2%と、有料でも利用したいと回答している。

なお、無料とする回答は、「現在の運行区域の場合」は3.2%、「運行区域をもねの里モール等まで広げた場合」は0%と低くなっている。

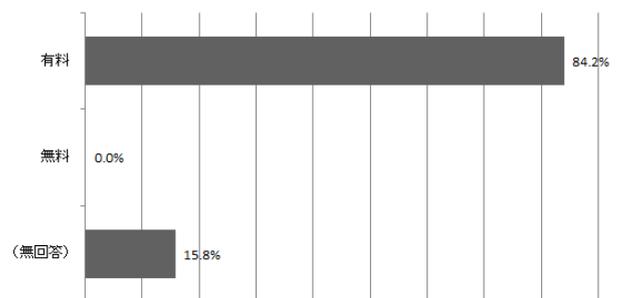
①現在の運行区域の場合

運賃	件数	割合
有料	209	73.6%
無料	9	3.2%
(無回答)	66	23.2%
合計	284	



②運行区域をもねの里モール等まで広げた場合

運賃	件数	割合
有料	239	84.2%
無料	0	0%
(無回答)	45	15.8%
合計	284	

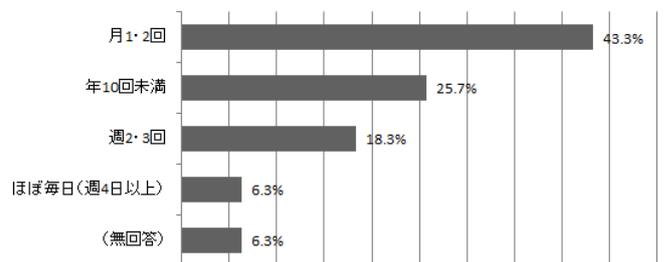


(12) ご自身の路線バスの利用状況 (いずれかひとつ)

路線バスの利用状況は、会員全体では「月1・2回」と回答した方が43.3%と高く、「年10回未満」が25.7%と次に続く。また、利用者では、「月1・2回」と回答した方が52.5%と高く、「週2・3回」と「ほぼ毎日」を合わせると、87.5%が毎月路線バスを利用している。

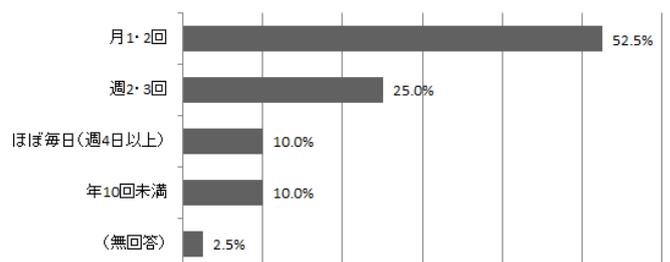
会員全体

利用状況	件数	割合
月1・2回	123	43.3%
年10回未満	73	25.7%
週2・3回	52	18.3%
ほぼ毎日(週4日以上)	18	6.3%
(無回答)	18	6.3%
合計	284	



利用者

利用状況	件数	割合
月1・2回	21	52.5%
週2・3回	10	25.0%
ほぼ毎日(週4日以上)	4	10.0%
年10回未満	4	10.0%
(無回答)	1	2.5%
合計	40	

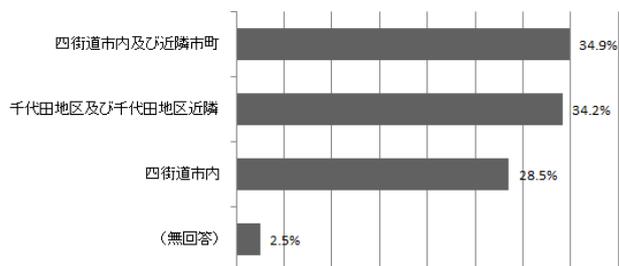


(13) 今後のご自身の日常生活エリア

今後のご自身の日常生活エリアでは、会員全体では、「四街道市内及び近隣市町」が34.9%と高く、「千代田地区及び千代田地区近隣」が34.2%となっている。利用者では、「千代田地区及び千代田地区近隣」が40.0%、「四街道市内」が30.0%となっている。

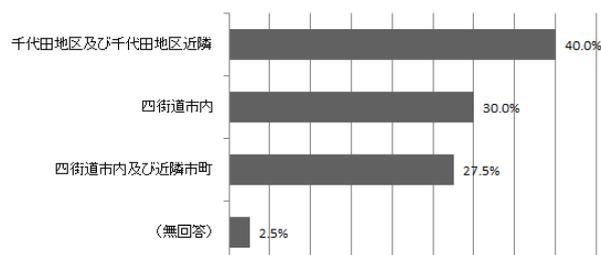
会員全体

エリア	件数	割合
四街道市内及び近隣市町	99	34.9%
千代田地区及び千代田地区近隣	97	34.2%
四街道市内	81	28.5%
(無回答)	7	2.5%
合計	284	



利用者

エリア	件数	割合
千代田地区及び千代田地区近隣	16	40.0%
四街道市内	12	30.0%
四街道市内及び近隣市町	11	27.5%
(無回答)	1	2.5%
合計	40	

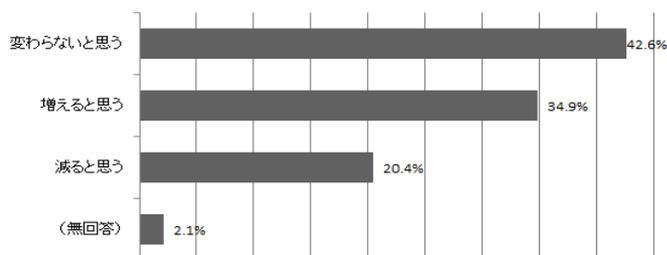


(14) 今後のご自身の路線バス（千代田団地線）利用見込み（いずれかひとつ）・(15) 今後のご自身の路線バス（物井池花線）利用見込み（いずれかひとつ）

今後のご自身の路線バス利用見込みでは、千代田団地線、物井池花線ともに「変わらないと思う」が42.6%、47.9%と高く、「増えると思う」が、34.9%、27.1%となっている。

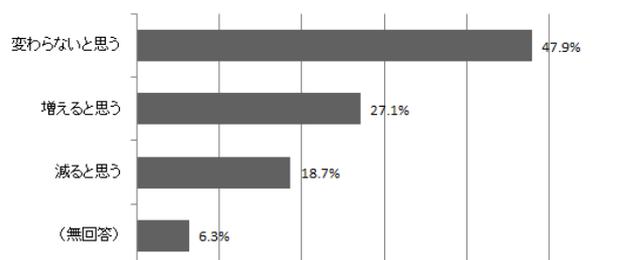
千代田団地線

利用見込み	件数	割合
変わらないと思う	121	42.6%
増えると思う	99	34.9%
減ると思う	58	20.4%
(無回答)	6	2.1%
合計	284	



物井池花線

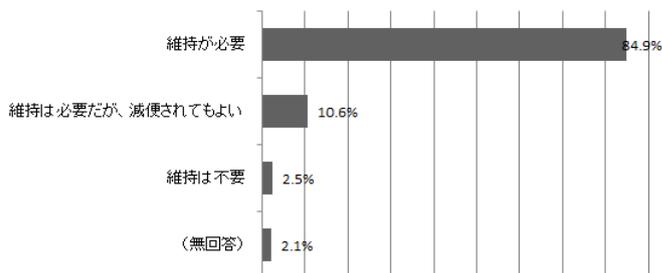
利用見込み	件数	割合
変わらないと思う	136	47.9%
増えると思う	77	27.1%
減ると思う	53	18.7%
(無回答)	18	6.3%
合計	284	



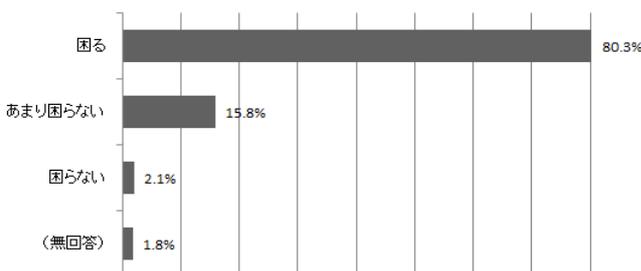
(16) 千代田地区を運行する路線バスの維持は必要か (いずれかひとつ) ・ (17) 今後路線バスが減便された場合について

千代田地区を運行する路線バスの維持は必要かについては、「維持が必要」と回答した方が84.9%、今後路線バスが減便された場合については、「困る」と回答した方が80.3%と高く、千代田地区において、路線バスは移動手段として必要な公共交通となっている。

維持は必要か	件数	割合
維持が必要	241	84.9%
維持は必要だが、減便されてもよい	30	10.6%
維持は不要	7	2.5%
(無回答)	6	2.1%
合計	284	



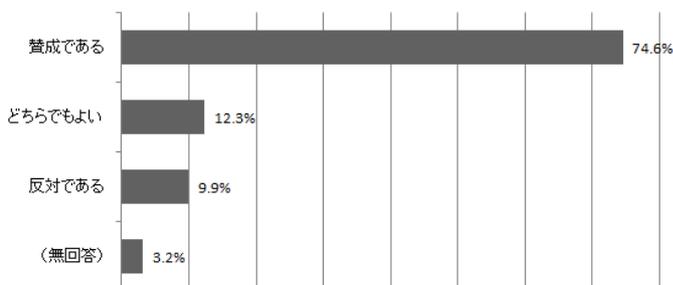
減便された場合	件数	割合
困る	228	80.3%
あまり困らない	45	15.8%
困らない	6	2.1%
(無回答)	5	1.8%
合計	284	



(18) バス事業者が経営判断により、廃線・減便となった場合に、地域住民が主体となり、地域の公共交通を維持するという考え方について、どのようにお考えですか。

地域住民が主体となり、地域の公共交通を維持するという考え方については、「賛成である」と回答した方が74.6%と高く、地域と行政との協働による解決が必要である。

地域主体について	件数	割合
賛成である	212	74.6%
どちらでもよい	35	12.3%
反対である	28	9.9%
(無回答)	9	3.2%
合計	284	



※表中の割合(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、割合の合計値が100%にならない場合があります。

(11) ご意見・ご要望

肯定的な意見について

- ・グリスロのおかげでクリーニング店、三徳まで行けて大変助かり、有難かった。
- ・今後高齢者の交通事故を少なくするためにも、グリスロの実現を楽しみにしている。
- ・あまり待たずに乗れることがありがたい。
- ・ドライバーさんも親切で気持ち良く対応して下さいます。
- ・車中での会話等により、「お年寄りの動く社交場」としてのツールになる。

要望

○停留所について

- ・もねの里モール、ものいトータルクリニック、物井駅、四街道駅方面（イトーヨーカ堂、栗山病院等）、トップマートに行ってほしい。
- ・商業施設内に乗り入れしてほしい。

○運行方法について

- ・定時定路線を希望する。
- ・帰りの時間が読めないため、予約が難しい。
- ・予約が面倒くさい。
- ・利用する際、一人のことが多いので、申し訳なく思う。
- ・フリーでも利用可能としてほしい。
- ・1~5丁目をブロックに分け、曜日ごとに運行してはどうか。

その他

- ・乗車人数が少ない。
- ・免許返納（2~3年後）した後に、利用したい。
- ・運行時に走行認知として、チャイム音等で、家の中からも聞こえると出かけてみようという気にさせると思う。
- ・健康のために、歩いている。
- ・suica等ができれば便利。
- ・バスがなくなるというのは、あまりにもピンとこないこと。
- ・バスがなくなるようならば、物井駅まで行けるようにしてもらいたい。

2. アンケート調査結果（全体）及び今後について

アンケート調査結果において、現在は火曜日、木曜日、金曜日の運行が行われているが、会員全体では水曜日、土曜日、金曜日の運行希望が多く、利用者は火曜日、金曜日、土曜日の運行を希望している。なお、水曜日は、千代田地区付近の多くの医院が、次頁の通り、休診日としている状況であり、全体の利便性を考えると、水曜日の運行については、検討が必要である。

千代田地区を運行する路線バスの維持については、路線バスの維持が必要と回答した方が84.9%、今後路線バスが減便された場合については、「困る」と回答した方が80.3%と高く、今後もこの地域での移動手段として、路線バスは必要不可欠であると考えている方が多い状況である。

運行区域を「もねの里モールまで広げた場合」について、84.2%が有料でも利用したいと考えている。

また、実証実験の会員の中には、グリーンスローモビリティを利用せずに、毎月路線バスを利用している方も68.0%いることから、今後さらなる高齢化の進展を考慮した場合、バス利用を維持するためにも、グリーンスローモビリティを活用した路線バスの補完は必要と思われる。

利用時アンケートの予約、停留所等の運行システムの満足度について、「満足」が61.0%、「どちらかといえば満足」が22.0%となっており、合わせて83.0%が満足と回答している一方、利用されていない方の主な理由は、予約が面倒（31.0%）であり、定時定路線を望む方が多い状況である。

今後の運行方法については、アンケート調査結果のみならず、現在利用されている方の声などにも配慮した運行内容の検討が必要である。

市としては、引き続き路線バスの補完を主目的として実証実験を行うが、他の商業施設への運行を希望する声もあるため、四街道警察とも、これまでの安全運行の実績を示しながら協議を行い、もねの里モール等への運行を検討する。ただし、運行を検討する際には、グリーンスローモビリティの充電時間や走行距離も考慮に入れて検討する必要がある。

アンケート調査結果では、「定時定路線運行を望む」が60.9%、「予約型乗合運行を望む」が23.6%となっているが、この定時定路線運行については、満員により乗車できない、停留所が遠くなる、時刻が希望通りにならない等の可能性があることを前提に問い、回答した結果となっている。このことから定時定路線についても検討する。

地域住民が主体となり、地域の公共交通を維持するという考えについては、「賛成である」が74.6%となっていることから持続可能な地域公共交通を目指し、市と地域が協働し、地域主体の運行についても検討を進めていく。

今後の展開としては、運行内容の変更について、警察、千葉内陸バス、自治会、商業施設等関係者と協議を行い、新たな運行方法を目指すこととする。

また、現在の運行経費は、全て市が負担していることから、今後の運行を維持していく上で経費削減策や収入増加策も検討していく。

実証実験の期間については、令和5年3月31日までとなっているが、内容変更後から期間も短く、運行方法も更に検討が必要となるため、実証実験期間の延長が必要と考えている。

○千代田地区周辺の医院休診日

医院名	休診
野村外科医院	日・祝・第2.4土
千代田クリニック	木・日・祝
ライオン皮フ科	水・土（午後）・日・祝
もねの里クリニック	水・土（午後）・日・祝
ものいトータルクリニック	水・日・祝

10. グリスロが有償運送となった場合の適正と思われる運賃について(1回当りの運賃額を記入)

(1) 現在の運行区域の場合

	円
--	---

(2) 運行区域をもねの里モール等まで広げた場合

	円
--	---

11. 実証実験に関する、ご意見・ご要望(行きたい場所など)

--

12. ご自身の路線バスの利用状況(いずれかひとつ)

- ほぼ毎日(週4日以上) 月1・2回
 週2・3回 年10回未満

13. 今後のご自身の日常生活エリア(いずれかひとつ)

- 千代田地区及び千代田地区近隣
 四街道市内
 四街道市内及び近隣市町

14. 今後のご自身の路線バス(千代田団地線)利用見込み(いずれかひとつ)

- 増えると思う 減ると思う
 変わらないと思う

15. 今後のご自身の路線バス(物井池花線)利用見込み(いずれかひとつ)

- 増えると思う 減ると思う
 変わらないと思う

16. 千代田地区を運行する路線バスの維持は必要か(いずれかひとつ)

- 維持が必要 維持は不要
 維持は必要だが、減便されてもよい

17. 今後路線バスが減便された場合について

- 困る 困らない
 あまり困らない

18. バス事業者が経営判断により、廃線・減便となった場合に、地域住民が運営主体となり、地域の公共交通を維持するという考え方について、どのようにお考えですか。(運行経費について、市が一部補助をする。)(いずれかひとつ)

- 賛成である どちらでもよい
 反対である

ご協力ありがとうございました。

四街道市

グリーンスローモビリティを活用した実証実験について

＜運行方法の変更＞

— 令和4年度 —



令和4年8月

四街道市経営企画部政策推進課

目次

1.	実証実験の目的	1
2.	検証内容	1
3.	実証実験の基本的な考え方	1
4.	運行方法に係る協議	2
①	これまでの協議経過	2
②	四街道警察署との協議	3
③	千代田各自治会等との意見交換	4
5.	実証実験の運行方法検討（比較）	6
6.	実証実験における新たな運行方法	7
①	実証実験の名称	7
②	運行区域	7
③	運行期間	7
④	運行日時	7
⑤	運賃	7
⑥	利用者	7
⑦	会員登録	7
⑧	会員名簿	9
⑨	車両	9
⑩	協働連携によるイベント等の開催について	9
⑪	運行ルートと目的地について	10
⑫	運行日数と運行便数について	10
7.	今後の予定について	10

1. 実証実験の目的

令和2年度における国のグリーンスローモビリティを活用した実証実験では、この地域の買い物支援やコミュニティ増進に一定の効果が認められたものの、短期間での実証実験期間であったことから、公共交通課題解決への効果検証が十分にできていない状況である。

このため、令和3年度からの市の実証実験は、この地域の活性化、コミュニティ増進等への効果及び路線バスを補完し、移動支援による公共交通の利用増進に向けた効果を検証することを目的とする。

2. 検証内容

実証実験期間において、交通課題解決に向けて利用者へのアンケートを実施し、利用状況(行先、利用目的)を確認するとともに、効果的かつ持続可能な運行方法を検討する。

また、検討に当たっては、持続可能な運行に向けた創意工夫、地域公共交通の課題解決に関して、千代田各自治会、交通事業者、商業施設等の協力事業者と市が協働・連携しながら検証するものとする。

〈検証項目〉

- ・ 路線バスへの補完に向けた課題整理
- ・ 地域活性化、地域のコミュニティ増進
- ・ 制度全般の整理(意見・要望)、事業の継続性、運行全般の整理

3. 実証実験の基本的な考え方

令和2年度の実証実験は、商業施設までの運行について、評価が高かった一方で、千代田地区を網羅したルート設定や増便、ダイヤ変更などの運行方法についての意見をいただいた。また、車両が目立つことで、多くの利用があり、商業施設などで乗り切れない事案も生ずるなど、利用者に配慮した運行方法が課題となった。

このため、令和3年度の実証実験では、利用者の利便性に配慮したデマンド型乗合交通による実証実験を実施した。

しかしながら、利用者の伸び悩みなどもあり、会員向けのアンケート調査を実施した結果、「電話での予約が面倒である」や「定時定路線を希望する」との声が多くあったことから、千代田各自治会、交通事業者、商業施設等の協力事業者及び市と意見交換を行い、新たな運行方法を検討した。

今後も、この地域にとってよりよい移動支援となるよう千代田各自治会、交通事業者、商業施設等の協力事業者及び市が協働・連携し、試行を重ねながら実証実験を実施するものとする。

4. 運行方法に係る協議

令和4年3月に実施した会員向けアンケート調査結果や、令和3年度の運行状況等を踏まえ、4月から千代田各自治会、バス事業者、商業施設等の協力事業者と意見交換を行いながら、新たな運行方法を検討した。また、検討にあたっては、四街道警察署と運行における安全対策等について協議し、新たな運行方法をまとめた。

① これまでの協議経過

年月日	内 容	相手方・参加者
3月17日～ 4月18日	会員向けアンケート調査	
4月27日	四街道警察署との協議 ・走行ルートに関する協議	四街道警察署
5月9日	商業施設との協議 ・実証実験への協力依頼	三徳四街道店
5月13日	商業施設との協議 ・実証実験への協力依頼	もねの里モール管理者
5月17日	四街道警察署との協議 ・走行ルートに関する協議	四街道警察署
5月18日	千代田各自治会への報告 ・令和3年度実績報告 ・会員向けアンケート調査結果報告	千代田各自治会代表者
6月8日	第1回意見交換会 ・千代田地区における地域公共交通の 課題共有 ・運行方法の検討	千代田各自治会代表者
6月15日	四街道警察署への意見照会 ・実証実験に関する意見照会	
6月16日	第2回意見交換会 ・運行方法の検討	千代田各自治会代表者 千葉内陸バス株式会社 三徳四街道店 もねの里モール管理者
6月17日	商業施設との協議 ・実証実験の内容説明	クスリのアオキ
6月22日	四街道警察署への意見照会 ・実証実験に関する意見回答	
6月24日	第3回意見交換会 ・運行ルート等の検討	千代田各自治会代表者 千葉内陸バス株式会社 もねの里モール管理者
7月6日	第4回意見交換会 ・運行時刻、便数等の検討	千代田各自治会代表者 もねの里モール管理者

② 四街道警察署との協議

実証実験に係る運行については、これまで市と四街道警察署との間で、千代田地区及びその周辺において、グリーンスローモビリティの車両が走行し、住民が移動することに関して協議を行ってきた。

そして、令和4年6月15日に書面による意見照会を行い、6月22日に四街道警察署より回答をいただいた。

その結果については、「意見なし」との回答であったが、3点の指導事項があったことから、次のとおり市の考え方をまとめ、運行することとする。

四街道警察署からの指導事項	四街道市の考え方
<p>(1)安全対策の検討について</p> <p>グリーンスローモビリティは低速走行であるため、一般車との走行速度差が大きい為、交通量の多い幹線道路での活用は不向きです。車両は軽量であり、乗員を保護する装備がないため、他車に衝突された場合は重大事故につながるリスクがあります。事故防止の観点から千代田交番前から三徳プラザまでの区間の走行及び交差点の右折については可能な限り控えるとともに、安全対策を講じる事について検討をお願いします。</p>	<p>往路においては後方から車が追いついてきた場合に、道路の左側に寄り、後続車をやり過ぎした後、交差点に向かいます。また、復路においては交差点侵入後、すぐに左折を行い、極力交通量の少ない道路を通過し、可能な限り四街道警察の指摘する箇所の走行を控えることで、安全対策を図ってまいります。</p>
<p>(2)運転者への指導等について</p> <p>車両等の使用者は、運転者等に対し道路交通法を遵守させる義務がありますので、運転者の管理や指導をしていただくようお願いします。</p> <p>道路交通法では、追いつかれた車両は進路を譲る義務があることが規定されております。道路交通の円滑のため遵守すべきルールとして徹底していただくようお願いします。</p> <p>その他、運行前の車両点検や、飲酒の有無を含めた体調の確認をしてください。</p>	<p>運転業務等事業者に対し、四街道警察からの指導事項を遵守するよう指導してまいります。</p>
<p>(3)関係機関への広報について</p> <p>実証実験内容について、地域住民だけでなく、既存の路線バス会社や消防等に対しても説明していただくようお願いします。</p>	<p>実証実験の内容について、地域住民、バス事業者、消防等の関係機関に対して説明を行ってまいります。</p>

③ 千代田各自治会等との意見交換

千代田各自治会等との意見交換会において、はじめに今回の実証実験を成功させる上で重要となる課題、現状及び対策について下記のとおり共通認識を図った。

また、課題解決を図る上での前提条件として、千代田各自治会、交通事業者、商業施設等の協力事業者及び市が協働・連携することを確認した。

○ グリーンスローモビリティ

課題	利用者の拡大
現状	実証実験の開始から3月末時点の利用延べ人数は291人
対策	運行方法の変更や運行範囲の拡大

○ 路線バス

課題	利用者の拡大
現状	路線バスの利用者数は新型コロナウイルスの影響もあり減少傾向※
対策	住民との危機意識の共有、周知啓発・イベントの開催

※ 千代田団地線における利用者数は2020年度末の時点で2017年度末と比較して約3割減

○ 運行方法

課題	アンケート調査結果 ・電話予約が面倒 ・目的地としてもねの里モールまでの運行 ・定時定路線での運行
現状	・電話予約での乗車 ・千代田団地内での運行 ・デマンド型での運行
対策	・定時定路線での運行 ・もねの里モールまでの運行 ただし、定路線の設定については、現在利用されている方に配慮した設定とする。 また、次のデメリットについても確認（各自治会が了承済み） ・定時定路線では自宅と乗車場所の距離が遠くなる場合がある。 ・運行時間が限定される。（本数、運行時間に制限） ・確実な乗車ができなくなる。（特に復路で乗れない場合もある）

○ 千代田各自治会の意見

- ・ 運行方法については、アンケート結果を踏まえ、デマンド型では利用者の増加は見込めない。
- ・ 2年度に実施した実証実験と同様に丁目ごとにグループ分けをして運行したい。
- ・ 定時定路線での運行を希望する。（一部でデマンド型での運行を希望する声も）
- ・ ものいトータルクリニックまでの運行を希望する。
- ・ もねの里モールまでの運行を希望する。
- ・ 週4日の運行ができないか（ボランティアでの運行も検討）
- ・ 現在の利用者に影響がでない範囲で運行方法を変更する必要がある。
- ・ グリーンスローモビリティと路線バスが連携できると良い。

○ バス事業者（千葉内陸バス）の意見

- ・ これまで路線バスを利用していた人が生活スタイルを変更し、グリーンスローモビリティに移行してしまう住民がいることを懸念している。
- ・ もねの里モールまでの運行については懸念がある。しかし、週3日で路線バスが走っていない時間（11時から14時）での運行のため、競合は避けられている。
- ・ 行きにグリーンスローモビリティ、帰りに路線バスを利用してもらえると、今まで路線バスを利用したことがない方に利用してもらえるため、メリットがあるとも考えられる。

○ 商業施設（三徳四街道店、もねの里モール管理者）の意見

- ・ 三徳の駐車場の確保について協力は可能。
- ・ もねの里モールにおいては、ヨークマート前の駐車は難しいが、他の場所で駐車場を確保することは可能。
- ・ もねの里モールにおいては、停留所に看板を設置してほしい。
- ・ もねの里モールでの電源供給について協議中。
- ・ クスリのアオキと駐車場について協議中。

5. 実証実験の運行方法検討（比較）

千代田各自治会、バス事業者、商業施設等の協力事業者及び市と意見交換を行いながら、新たな運行方法を次のとおり検討した。

項目	現行の運行方法	新たな運行方法
運行期間	令和3年10月19日～ 令和5年3月31日（予定）	令和4年10月3日～ 令和6年3月31日（予定） まで 延長
運行日時	月曜日～金曜日の内の3日間（祝日、年末年始（12/29～1/3）除く。） 10:00～16:00（休憩1時間）	月曜日～金曜日の内の3日間（祝日、年末年始（12/29～1/3）除く。） 9:30～16:30（休憩1時間）
運行曜日	火曜日、木曜日、金曜日	月曜日、水曜日、金曜日
運賃	無賃	無賃
利用対象者	千代田地区在住の会員登録者のみ	千代田地区在住の会員登録者のみ
運行方法	デマンド運行	定時定路線運行 団地内におけるフリー乗降区間の設定
運行ルート、目的地	ルートを固定せず、自宅近くの停留所から目的地の停留所まで、利用者の予約に合わせて運行 ・千代田集会所 ・クスリのアオキ ・ベリータウン薬局 ・三徳付近	1・2・5丁目ルート（Aルート）、 3・4・5丁目ルート（Bルート） の2ルートを設定 ・千代田集会所 ・クスリのアオキ ・ベリータウン薬局（Bルートのみ） ・ 三徳駐車場 ・ ものいトータルクリニック ・ もねの里モール駐車場
便数	予約数に応じて走行	1日3便 路線バスとの接続に留意した時刻表の作成
車庫	四街道市役所	市役所以外の公的施設、交通事業者施設、千代田集会所を検討
その他		協働連携によるイベント等の開催

6. 実証実験における新たな運行方法

① 実証実験の名称

「グリーンスローモビリティを活用した実証実験 — 地域公共交通の課題解決に向けて — 」とする。

② 運行区域

千代田1～5丁目、もねの里モールまでとする。

③ 運行期間

新たな運行方法による運行期間は、令和4年10月3日から令和6年3月31日(予定)までとする。

④ 運行日時

運行日は、週3日とし月曜日、水曜日、金曜日に運行する。(土日、祝日、年末年始は除く。)

運行時間は、9時30分から16時30分までとする。なお、運転手の休憩時間を1時間設ける。

荒天時等による運休は、市のホームページ等に掲載するものとする。

⑤ 運賃

実証実験中は無賃とする。

⑥ 利用者

利用者は、千代田地区に在住する中学生以上の者が会員登録を行うこととする。

利用者は、会員以外の者(原則千代田地区の中学生未満及び千代田地区外の者)を同乗させることができる。

車いすの利用については、介助者の同伴を利用の条件とする。(乗車のためのスロープや車いすを固定する器具有)

⑦ 会員登録

実証実験中は、引き続き会員登録を実施し、利用者の属性や動向等を把握することとする。なお、非会員が乗車しようとする場合は、乗車時、又は後日会員登録を行うことで乗車可能とするなど、柔軟に対応する。

利用希望者は、会員規約を確認のうえ、会員登録申込書に必要事項を記入し、市役所へ郵送する。また、自治会が取りまとめた申込書を受け付ける。

会員登録申込書の入手方法は、自治会による回覧や配布場所(四街道市政策推進課、千代田集会所、公民館、商業施設等)、ホームページ、乗車時に入手可。

会員登録申込書の提出後、市が会員証(IDカード)を発行する。(発行までに10日から2週間程度要する。)

利用者は、乗車の際に会員証を携行し、必ず会員証を提示するものとする。

ステップ
1

申し
込み



申込書に必要事項を記載し、
政策推進課、又は各自治会担
当者宛てに郵送又は持参す

ステップ
2

会員
証が
届く

会員証
会員番
号 001

会員証が届きましたら
会員証を携行の上、
ご利用可能となる。

ステップ
3

ルート上
又は停留所
で待つ

〇〇
停留所

停留所には看板が
貼ってある。



ステップ
4

目的地の
停留所に
着く



帰る時

ステップ
5

ルート上
又は停留所
に着く

※現在チョイソコ会員になっている方については申込書を不要とし、新しい会員証を再発行する。

⑧ 会員名簿

会員名簿は、特に個人情報保護の重要性から、市の個人情報保護条例に従い、適切に管理する。

⑨ 車両

使用車両については、市所有のグリーンスローモビリティ1台(株式会社シンクトゥギャザー製 eCOM-4、乗車定員7人)を使用する。

⑩ 協働連携によるイベント等の開催について

これまでに行われた千代田各自治会等との意見交換会において、路線バスの存続に対する危機意識を住民の方と共有していくことの重要性について協議をした。

そこで、グリーンスローモビリティの推進策と併せて、公共交通を一体となって支える機運の醸成に向けた意識啓発イベント等の取り組みを行うものとする。

下記の具体的取り組み案は参考として挙げており、イベントの開催や運行方法の協議等を行う際は、各主体が集まり、話し合いの中でアイデアを出し合いながら、今後も一丸となって、公共交通課題に取り組むこととする。

○具体的取り組みの事例

バス利用促進イベントの実施	バスに関するクイズイベントやバスの乗り方教室を開催
車両広告掲出による広告収入の検討	グリーンスローモビリティを維持していく上で、自主財源を確保することから車両に有料広告を掲出
ボランティア運転手の検討	地域の交通を自分達の手で守るべく意識のもと、ボランティア運転手による運行を検討
交通課題の周知啓発	産業まつり等のイベントの中でグリーンスローモビリティを活用し、バス利用促進チラシ等を配布
協力事業者とのスタンプラリーの実施	商業施設を目的地とした際、往復の交通手段にグリーンスローモビリティや路線バスを利用した会員に対し、ポイントに応じた景品などの特典を用意

⑪ 運行ルートと目的地について

運行ルートについて、2丁目から1丁目、5丁目を通るルート（Aルート）と3丁目から4丁目、5丁目を通るルート（Bルート）の2ルートとする。

また、目的地は、「千代田集会所」、「クスリのアオキ」、「ベリータウン薬局」に加え、「三徳駐車場」、「ものいTOTALクリニック」、「もねの里モール駐車場」を目的地に加える。

なお、新たに「三徳駐車場」を目的地に加えたことから、現行の目的地である「三徳付近」については、運行ルート変更後の目的地から除外した。

⑫ 運行日数と運行便数について

運行日数については、週3日それぞれの曜日において、時間帯に応じてAルートとBルートを変えることで、どちらのルートでも週3日の運行が可能となるよう配慮した。

運行便数については、市が委託する運行時間の範囲内とし1日3便（午前2便・午後1便）により効率よくルートを設定した。また、もねの里モールでの停車時間を可能な限り確保した。

なお、新たなルートでの運用開始後も引き続き、運転業務等事業者が運転を行う。

運行日数、運行便数等について

曜日	月	水	金
便数	3便	3便	3便
時間帯 及びルート	B午前	A午前	B午前
	B午前	A午前	B午前
	A午後	B午後	A午後

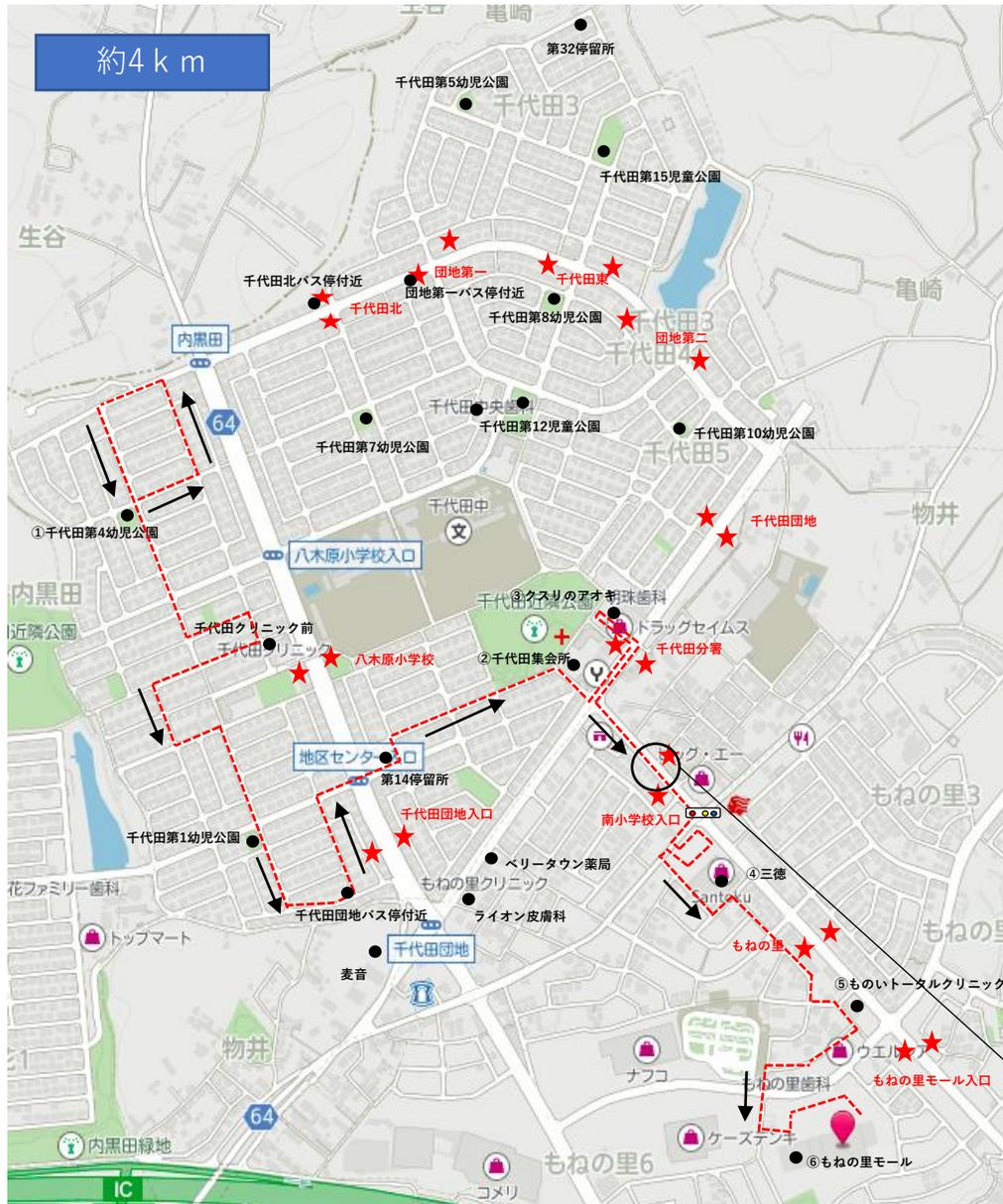
7. 今後の予定について

四街道市地域公共交通会議でのご意見を踏まえ、千代田各自治会、バス事業者、商業施設等の協力事業者及び市が協働・連携しながら、10月3日からの新たな運行方法を目指し、周知・啓発を行う。

令和4年8月	千代田各自治会等との協議
令和4年9月～	運行方法の変更に係る周知、ルートの確認、試行運行、準備期間
令和4年10月3日～	新たな運行方法にて運行開始

(案)

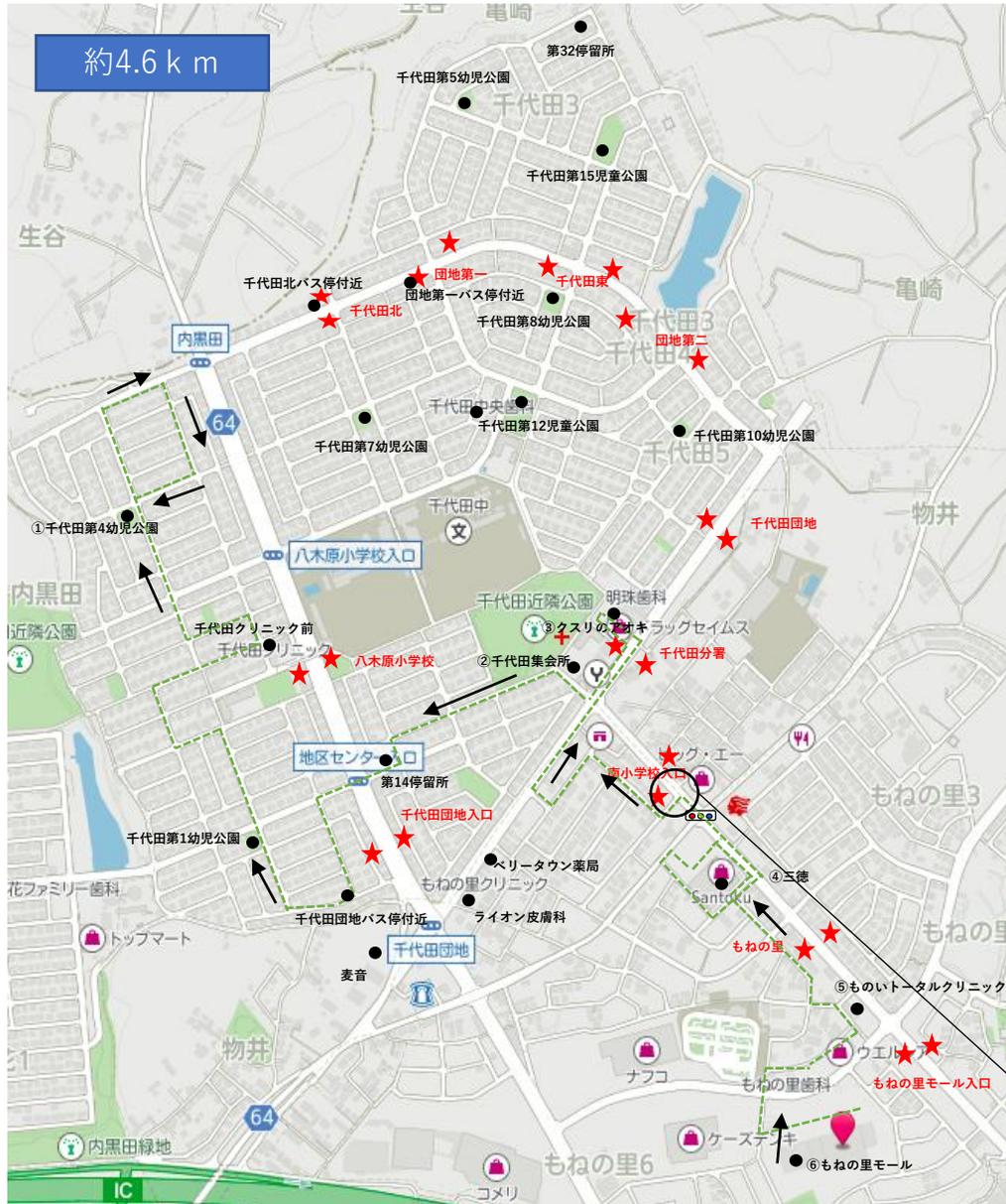
1・2・5丁目(Aルート)往路



Aルート(千代田1丁目・2丁目・一部5丁目)時刻表				
経由地(停留所は番号)	月曜日(午後)	水曜日(午前)	金曜日(午後)	
①千代田第4幼児公園発	14:40	9:30	11:24	14:40
千代田クリニック前	14:45	9:35	11:29	14:45
第1幼児公園前	14:48	9:38	11:32	14:48
千代田団地入口バス停付近	14:49	9:39	11:33	14:49
第14停留所	14:51	9:41	11:35	14:51
②千代田集会所	14:53	9:43	11:37	14:53
③クスリのアオキ	14:54	9:44	11:38	14:54
④三徳駐車場	15:01	9:51	11:45	15:01
⑤もねの里トータルクリニック	15:05	9:55	11:49	15:05
⑥もねの里モール駐車場	16:00	10:50	12:44	16:00
⑤もねの里トータルクリニック	16:04	10:54	12:48	16:04
④三徳駐車場	16:08	10:58	12:52	16:08
③クスリのアオキ	16:16	11:06	13:00	16:16
②千代田集会所	16:17	11:07	13:01	16:17
第14停留所	16:19	11:09	13:03	16:19
千代田団地入口バス停付近	16:21	11:11	13:05	16:21
第1幼児公園	16:22	11:12	13:06	16:22
千代田クリニック前	16:25	11:15	13:09	16:25
①千代田第4幼児公園着	16:30	11:20	13:14	16:30

・後方から車が追い付いて来た際は、左に寄り追い越しをさせ、原則赤信号になって右折帯に進入する。

1・2・5丁目(Aルート)復路

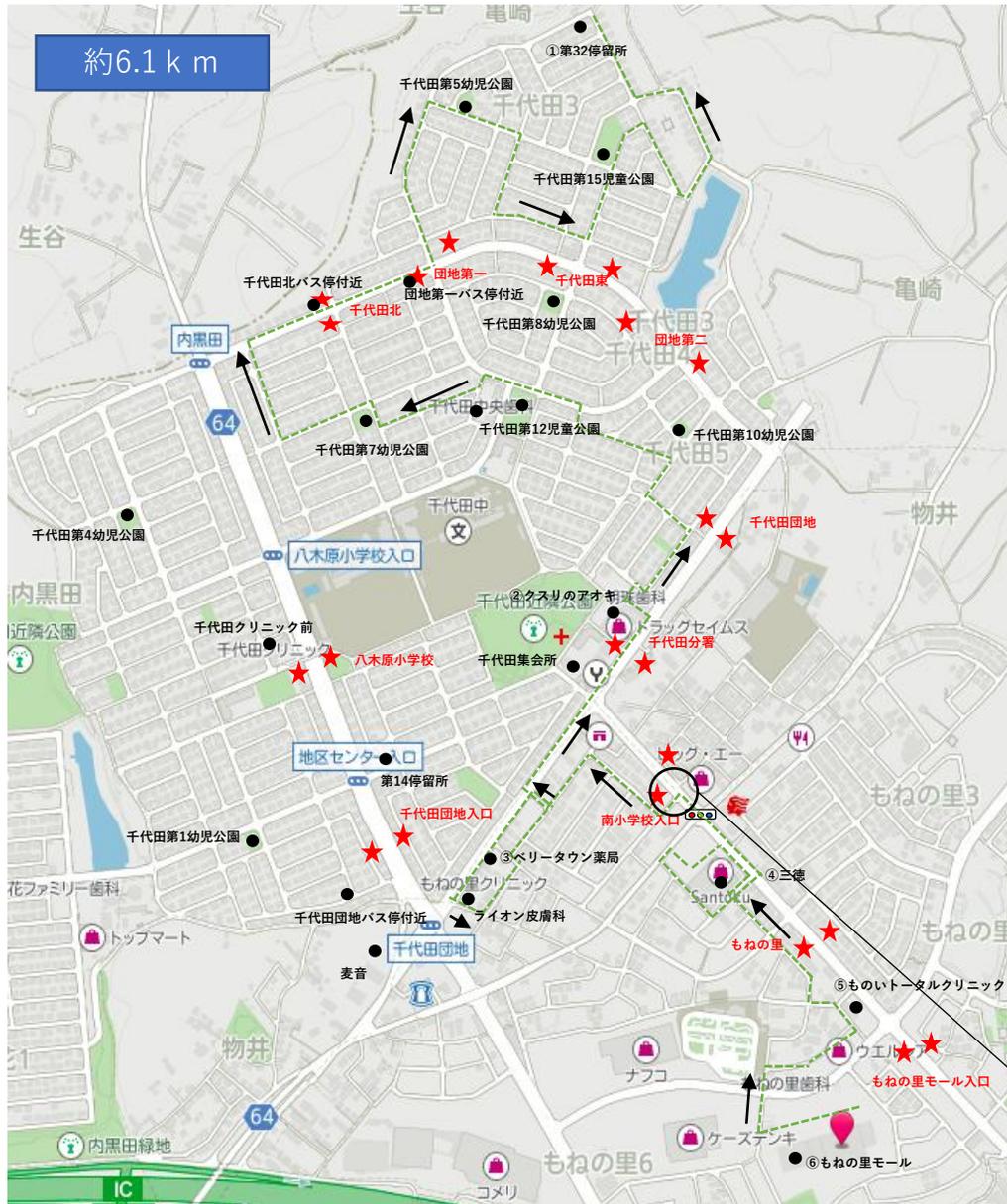


Aルート (千代田1丁目・2丁目・一部5丁目) 時刻表

経由地 (停留所は番号)	月曜日 (午後)	水曜日 (午前)		金曜日 (午後)
①千代田第4幼児公園発	14:40	9:30	11:24	14:40
千代田クリニック前	14:45	9:35	11:29	14:45
第1幼児公園前	14:48	9:38	11:32	14:48
千代田団地入口バス停付近	14:49	9:39	11:33	14:49
第14停留所	14:51	9:41	11:35	14:51
②千代田集会所	14:53	9:43	11:37	14:53
③クスリのアオキ	14:54	9:44	11:38	14:54
④三徳駐車場	15:01	9:51	11:45	15:01
⑤ものいトータルクリニック	15:05	9:55	11:49	15:05
⑥もねの里モール駐車場	16:00	10:50	12:44	16:00
⑤ものいトータルクリニック	16:04	10:54	12:48	16:04
④三徳駐車場	16:08	10:58	12:52	16:08
③クスリのアオキ	16:16	11:06	13:00	16:16
②千代田集会所	16:17	11:07	13:01	16:17
第14停留所	16:19	11:09	13:03	16:19
千代田団地入口バス停付近	16:21	11:11	13:05	16:21
第1幼児公園	16:22	11:12	13:06	16:22
千代田クリニック前	16:25	11:15	13:09	16:25
①千代田第4幼児公園着	16:30	11:20	13:14	16:30

・物井駅入り口交差点侵入後、すぐに左折を行い、極力交通量の少ない道路を通過する。

3・4・5丁目(Bルート)復路



Bルート (千代田3丁目・4丁目・一部5丁目)					
経由地 (停留所は番号)	月曜日 (午前)		水曜日 (午後)	金曜日 (午前)	
①第32停留所発	9:30	11:27	14:34	9:30	11:27
第15児童公園	9:33	11:30	14:37	9:33	11:30
第5幼児公園	9:35	11:32	14:39	9:35	11:32
団地第一バス停付近	9:37	11:34	14:41	9:37	11:34
第7幼児公園	9:39	11:36	14:43	9:39	11:36
②クスリのアオキ	9:42	11:39	14:46	9:42	11:39
③ベリータウン薬局	9:45	11:42	14:49	9:45	11:42
④三徳駐車場	9:53	11:50	14:57	9:53	11:50
⑤ものいータルクリニック	9:57	11:54	15:01	9:57	11:54
⑥もねの里モール駐車場	10:52	12:49	15:56	10:52	12:49
⑤ものいータルクリニック	10:56	12:53	16:00	10:56	12:53
④三徳駐車場	11:00	12:57	16:04	11:00	12:57
③ベリータウン薬局	11:07	13:04	16:11	11:07	13:04
②クスリのアオキ	11:11	13:08	16:15	11:11	13:08
第7幼児公園	11:14	13:11	16:18	11:14	13:11
千代田北バス停付近	11:16	13:13	16:20	11:16	13:13
第5幼児公園	11:18	13:15	16:22	11:18	13:15
第15児童公園	11:20	13:17	16:24	11:20	13:17
①第32停留所着	11:23	13:20	16:27	11:23	13:20

・物井駅入り口交差点侵入後、すぐに左折を行い、極力交通量の少ない道路を通過する。

- : 公園・病院等
- ★: バス停

市内公共交通の状況について

J R 駅別 1 日平均乗車人員

年次	総数	四街道駅	物井駅
平成 2 1 年	26, 045	21, 937	4, 108
2 2 年	25, 814	21, 776	4, 038
2 3 年	25, 648	21, 680	3, 968
2 4 年	25, 767	21, 817	3, 950
2 5 年	26, 247	22, 224	4, 023
2 6 年	25, 672	21, 808	3, 864
2 7 年	25, 965	22, 121	3, 844
2 8 年	25, 950	22, 132	3, 818
2 9 年	25, 919	22, 053	3, 866
3 0 年	26, 303	22, 262	4, 041
令和 元年	26, 138	21, 975	4, 163
2 年	20, 090	16, 972	3, 118
3 年	21, 320	17, 976	3, 344

令和 4 年度要望予定事項

①千葉駅発普通最終列車時刻の繰り下げ

0 : 05 千葉駅発以降の最終列車の増発。

②東京発 23:06 快速千葉行き以降の千葉駅止まり快速列車の千葉駅以東への延伸

東京駅 22 : 57 発快速佐倉行きより後の千葉駅止まり快速列車の千葉駅以東への延伸。

③ホームドアの設置

県立盲学校、視覚障害者総合支援センターがあるので早期設置してほしい。

※①～③については、千葉県 J R 線複線化等促進期成同盟を通じて要望予定。

千葉県 J R 線複線化等促進期成同盟は、千葉県をはじめ、県内 5 2 の自治体等で構成し、各路線のダイヤ改正や施設設備等の利便性向上に関する要望内容を検討、決定し、J R に対し要望活動を行っている団体です。

路線バス利用状況

(単位：人/日)

年次	千代田 団地線	物井池 花線	みそら 団地線	四勝 線	パード ヒル池 花線	千葉・ 四街道 線	総合公園 線 吉岡線、 亀崎線、 中台線、	つくし 座線	長沼 線	市内 循環 線 「ヨッピー」	めいわ 線	若松 四街道 線	臼井 線	大日 線	下志 津線	羽田 空港 線 (高速バス)	東京 線 (高速バス)
平成26年度	1,433	303	1,849	337	462	1,784	196	331	840	166	574	42	2,315	635	—	—	—
27	1,425	274	1,849	605	484	1,874	216	335	867	182	628	44	2,300	627	—	—	—
28	1,424	276	1,869	707	452	2,177	225	333	876	184	669	46	2,405	656	—	312	284
29	1,411	278	1,867	903	385	1,931	250	325	877	191	718	47	2,293	580	—	322	273
30	1,352	282	1,901	1,061	365	1,899	202	331	913	204	725	49	2,393	583	—	332	266
令和元年度	1,098	283	1,942	1,219	325	1,990	200	324	902	204	735	51	2,224	547	—	330	225
2	683	203	1,378	1,126	233	1,519	91	232	743	137	521	41	1,621	156	671	156	140
3	800	220	1,486	1,407	265	1,638	81	251	744	152	611	43	1,879	182	720	137	101

資料：千葉内陸バス(株)、平和交通(株)、ちばグリーンバス(株)、東京空港交通(株)

タクシーの利用状況

年次	*実働車両数 (1日当)	利用人数 (1日当)	利用人数 (1日1両当)	利用回数 (1日1両当)	収入 (1日1両当)	実車 km (1日1両当)	実車 km (1回当)	収入 (1回当)
平成22年度	71.9両	1662.0人	23.1人	18.0回	27,250円	68.1 km	3.8 km	1,514円
23	74.3両	1751.4人	23.6人	18.3回	27,013円	67.2 km	3.7 km	1,476円
24	69.3両	1740.2人	25.1人	19.4回	28,290円	70.0 km	3.6 km	1,458円
25	61.9両	1610.6人	26.0人	20.3回	29,230円	72.0 km	3.5 km	1,440円
26	60.4両	1546.4人	25.6人	20.0回	29,073円	69.5 km	3.5 km	1,454円
27	58.4両	1526.0人	26.1人	20.4回	29,917円	71.9 km	3.5 km	1,467円
28	56.7両	1496.3人	26.4人	20.6回	29,871円	71.8 km	3.5 km	1,450円
29	53.4両	1476.6人	27.7人	21.3回	30,903円	74.5 km	3.5 km	1,451円
30	47.4両	1400.7人	29.6人	23.0回	33,248円	80.5 km	3.5 km	1,446円
令和元年度	43.5両	1271.6人	29.2人	22.8回	33,633円	79.0 km	3.5 km	1,475円
2	27.6両	673.9人	24.4人	19.7回	30,838円	59.6 km	3.0 km	1,565円
3	25.5両	700.4人	27.5人	21.8回	34,863円	67.7 km	3.1 km	1,599円

*旅客輸送のため走行した車両数

資料：千葉県タクシー協会 「都市別集計表」

市内循環バス「ヨッピー」の利用状況等について（3年度実績）

利用者数（無料利用者含む）

（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間利用者合計
2年度	3,265	3,310	5,242	5,897	5,008	5,828	5,975	5,231	4,886	4,143	4,162	5,219	58,166
3年度	5,171	5,114	5,701	5,880	5,191	5,205	5,718	5,608	5,690	4,848	4,382	5,475	63,983
対2年度比	158.4%	154.5%	108.8%	99.7%	103.7%	89.3%	95.7%	107.2%	116.5%	117.0%	105.3%	104.9%	110.0%

2年度との差
5,817人

※利用者数は運転手の日々の人員調査票に基づき算出。 ※元年度、2月より新型コロナウイルスによる影響で利用者減少。

運賃収入

（単位：円）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	収入合計	実運賃収入
2年度	435,222	436,875	701,923	807,066	654,799	781,604	793,050	676,603	692,491	551,893	542,027	674,661	7,748,214	6,722,059
3年度	658,102	668,719	723,018	770,964	674,869	650,875	721,747	688,036	723,741	607,381	546,271	689,565	8,123,288	7,808,071
対2年度比	151.2%	153.1%	103.0%	95.5%	103.1%	83.3%	91.0%	101.7%	104.5%	110.1%	100.8%	102.2%	104.8%	116.2%

※実運賃収入は、収入合計からIC割引分、消費税相当額を差し引いて算出される。※実運賃収入には、定期券収入を含む。

市補助金

（単位：円）

区分	運行経費	市補助金	実運賃収入	収支率
2年度	21,897,016	15,174,957	6,722,059	30.7%
3年度	21,927,613	14,119,542	7,808,071	35.6%

※2年度の運行経費にはイニシャルコスト1,061,076円(運賃箱965,076円、知らせるバス利用料96,000円)を含む。

※3年度の運行経費にはイニシャルコスト104,100円(知らせるバス利用料96,000円、知らせてビューア用モバイルバッテリー8,100円)を含む。